



2025 年度 奨学生交流会

ランチブッフェ、腕輪念珠作り体験
& 東寺拝観 in 京都



2025 年度 奨学生交流会レポート

2025 年度の奨学生交流会は京都での開催となりました。全国各地から 43 名の学生が集まり、ご来賓 3 名と関係者合わせて総勢 56 名が、貸切観光バス 2 台にわかれて乗車し、会場となる「ザ・ロイヤルパークホテル京都梅小路」に向かいました。

今回は学生の自己紹介は行きのバスの中でおこないました。事務局スタッフの司会で、学生達のプロフィールカードを一緒に見ながら一人ひとり紹介し、同じバスに乗っている学生には趣味や夢中になっていることなどをお話しいただきながら、約 1 時間で目的地に到着です。



藤井理事長ご挨拶



交流会は藤井理事長のご挨拶に始まり、ご来賓の評議員の藤村様、理事の越智先生のご紹介、さらに奨学生選考委員の山本先生からは、大学での研究にて製品を開発し、商品化が叶い起業された話も交えながらご挨拶いただき、和やかな雰囲気の中でのスタートとなりました。

山本選考委員 乾杯のご挨拶



ランチはbuffet形式で美味しそうなお料理がたくさん並び、学生たちはそれぞれが好きなものをお皿にとっていきます。最初は緊張の面持ちだった学生達も次第に笑顔がみられるようになってきました。

食べ盛りの学生達は何度も料理のおかわりをして食事を楽しみ、各テーブルでの会話も弾んできた様子で笑い声が溢れていました。



デザートのかぼちゃのハロウィンパフェを堪能したあとは、お楽しみの抽選会の時間となりました。今回は少し趣向を変えて、ガチャガチャのカプセルに当たり券とキャンディがはいっていて、箱の中から1つとってもらいます。1等から3等までの豪華景品はAmazonギフトカード、スターバックスコーヒーセット、サーモスの水筒、さらに特別賞のワイヤレスイヤホンと残念賞のボールペンを用意。司会の「ガチャガチャオープン！」の掛け声で皆が一斉にカプセルをあけます。当たりの券がはいっていた学生のテーブルでは歓声が沸きました。残念ながら当たらなかった学生もそれぞれ好きなカラーのボールペンを選ぶことができました。

ガチャガチャ抽選会



「お坊さんによる腕輪念珠作りと一口法話」

体験工房「寺スペース」より、現役のお坊さんにお越しいただき、腕輪念珠作りを行いました。沢山の色やデザインの異なるパーストーンの中から、学生たちはそれぞれ好みの石を選び、自分の手首のサイズにあわせた腕輪念珠をつくっていきます。パーストーンにはそれぞれお守りのような意味もあり、色も多彩で、どのようなものをつくるか真剣な表情で石を選んでいました。

石に糸を通し、結び方などお坊さんに指導いただきながら、それぞれが個性溢れる素敵な作品を完成させていました。



腕輪念珠を完成したあとは、お坊さんから一口法話をしていただきました。

仏教と欲についての「少欲知足」というお話です。人は欲が尽きないので手に入れてもそれだけではならず、さらにまだ得ていないものに欲がでてくる。少欲知足とは「欲を少なくし、足るを知る」という意味で「まだ得られていないものを欲しないこと（少欲）」と「既に得られたものに満足すること（知足）」の両方を大切に、ということ。欲を完全に失くすのではなく、今あるものに感謝して満足することで、欲をコントロールして心を穏やかに保つ、という内容のお話でした。

とてもわかりやすくお話いただき、静かに時間が流れる良い時間となりました。



「東寺拝観」

ホテルを出てバスに乗り東寺へと出発しました。すっかり雨も止んでいて、みんなの思いが通じたのか、青空もでてきました。

東寺では6グループに分かれて、観光ガイドさんとともに観智院・宝物館・金堂・講堂を拝観しました。ちょうど秋期特別公開中の宝物館では高さ6mの千手観音菩薩や国宝の密教法具と金工品などを見学することができました。ガイドさんの丁寧で分かりやすい説明で各所拝観することができて、留学生も国内生も滅多に触れることのない文化遺産の価値や歴史に理解を深める機会となりました。とても有意義な拝観でしたが、時間が限られていたため、もっとゆっくり見たかった、との声も多くありました。このことが機会となり、それぞれの興味が広がっていくのが楽しみです。



観智院



宝物館

金堂



講堂



【アンケート結果】

1. 全体的な印象はいかがでしたか？
とても満足 39人
やや満足 4人
2. 交流会のなかで印象に残ったプログラムはありましたか？
ランチbuffet 26人
ガチャガチャ抽選会 15人
腕輪念珠作り・法話 26人
東寺 28人
3. 交流をはかれた人数は
1～5人 13人
5～10人 28人
10人以上 2人

お知らせ

2026年には奨学財団が設立されて20年を迎えます。記念の行事として歴代の奨学生が集ることができる同窓会の開催企画をすすめております。現在、様々な業種で働いている人や大学での研究を引き続き励んでいる人に会えること、また、交流会で仲良くなった人や、初めて会う人とも近況を語りあうことでさらに交流が深まり、つながりが広がっていくことを私たちも大変楽しみにしております。

奨学生の声

参加していただいた奨学生の皆さんの感想をまとめました。

今回の交流会は2回目で交流会に参加するのは最後でした。前回の交流会で仲良くなった方や、また、今回初めてお話す方も多くいましたが、話も弾み楽しい時間を過ごすことができました。自分と似た分野を学ばれている方やまたそうではない方も多くいましたが、自分の知らない分野のことを知る良い機会になりました。お互いに将来の話や考えていることを話すことで、自分も頑張ろうというモチベーションにもなり、新たな刺激を得ることができて実りある時間を過ごすことができました。留学生とも仲良くなることができて非常に嬉しかったです。

このたびは、大変貴重な機会を用意していただき、ありがとうございました。はじめは、知らない方ばかりの中どのようにコミュニケーションを取ればいいのかと不安でしたが、勇気を出して話しかけてみると皆さんが優しく答えて下さり楽しい時間を過ごすことができました。このような機会がなければ出会えなかった方々とたくさんお話をし、刺激を受け、今後より一層学業に励むとともに、将来についてもっと深く考えようと思いました。

今回の交流会では、他大学の大学院生の方々とお話しする機会をいただき、研究や留学生活について意見を交換できたことがとても有意義でした。また、お坊さんのご指導のもとで腕輪念珠を作りながら、一口法話を伺った時間は心が落ち着く貴重な体験となりました。さらに、東寺を拝観し、日本の伝統や歴史の深さを改めて感じることができました。全体を通して、普段の研究活動とは異なる視点から多くを学び、心が豊かになる一日でした。

多種多様な背景を持った学生たちと交流を計ろう交流会に参加して、食事をしながらお互いの文化を分かり合い、東寺という数ある日本が誇る世界遺産のお寺で、その歴史的産物を見ながら日本文化を堪能した。こういう機会は滅多にないだろう。同じ年代の人が違う国籍で、また同じ国籍でも背景が違う。お互い進む道も違うだろうに、こういうイベントに参加して、念珠を作り、ご飯を交わしていくうちに、お互いを理解しあった。これからもこの交流会で色々な人と出会い、世界を見る視野を広げたい。

最初の集合では緊張して話ができませんでしたでしたが、ランチビュッフェの時間でお互いの学んでいる内容や趣味の話で盛り上がり、仲良くなれました。年代も国籍もバラバラでしたが、自分の知らない分野の話をたくさん聞くことができ、楽しかったです。ランチは盛り上がりすぎて、一番うるさいグループだったと思います。抽選会は当たりませんでしたでしたが、大人数で楽しめました。東寺の拝観はガイドの方の説明で背景や資料だけではわからない内容を学ぶことができ、有意義な時間になりました。国宝などを近くで見られたことにも感動しました。仲良くなったメンバーとインスタの交換もできました。あっという間の交流会でとても楽しかったです。来年の交流会も楽しみです。

交流会が終わってから、まだ話足りない、あれも話せばよかった、と思うほど、楽しい交流会でした。他の大学の方と関わる機会はとても貴重なものだと思います。またこのような集まりに参加出来たら嬉しいです。

発行日：2026年2月

発行：公益財団法人 藤井国際奨学財団

住所：〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3-12-2 ☎：072-621-7601

※当広報誌の文章・画像等の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。